



森と海の自然科

「安満遺跡見学と高槻城跡散策」 報告

B グループ

実施日 2022 年 12 月 15 日 阪急京都線 高槻市駅 10 時出発
 参加者 17 名
 行程 阪急高槻市駅 ⇒安満遺跡公園 (ama site park) ⇒八丁松原⇒高槻市立しろあと歴史館⇒
 高槻城跡公園・歴史民俗資料館⇒野見神社⇒カトリック高槻教会⇒阪急高槻市駅

阪急高槻市駅から**安満遺跡公園**を目指して出発。途中 歩道上に弥生人の足跡と言われるパネルが埋め込まれていて この足跡を辿ると遺跡公園前に到着です。公園に隣接する**子育て支援センター**と**認定こども園**の建物を過ぎるとすぐ 眼の前には 甲子園球場の約 5 倍の面積を誇る**広大な緑の空間**が現れました。この敷地は 以前は京都大学農学部研究農場があった場所で、農場移転時に 高槻市が一括購入しました。公園内は 平日にも関わらず 多くの子ども連れの人たちや保育士さんに連れられた幼児たちのグループで賑わっていました。**Park Center**前で 我々を迎えてくださったボランティアガイドさんが 2 班に分けた私たちを 班ごとに公園の由来や各施設について 大変丁寧でわかりやすい説明と共に園内各所を案内して下さいました。、**ParkCenter**内には 公園インフォメーション・こどもの遊び場ボーネルンド・この公園を守る市民ボランティア事務所・売店等がありました。次に、再現された環濠（集落を鹿や猪から守るため）内は歴史拠点の場として **旧京大農場本館**があり 1F・2F レストランや休憩室で **東館の展示館**は弥生時代の歴史や暮らしを映像やレプリカで紹介する部屋で **西館**は土器作りや勾玉作りの**体験室**になっていました。環濠集落入口の周りには 再現された弥生時代の田や畑で 弥生時代に食したお米や野菜をボランティアの方々が育てているそうです。



パークセンター



環濠集落入口前



掘立式住居支柱



旧京大農場本館



高槻市立しろあと歴史館



高山右近像



カトリック高槻教会

昼食は 全員 旧農場本館内の休憩室を利用させていただきました。

今回、東の広場には行けなかったです カフェやペットショップや野外活動用品の店そして イベント広場の大きな屋根などが見えていました。広場の地下には もしもの災害時対策用に雨水の貯蔵室が設けられ、地上には非常用トイレも設置されているとの説明がありました。

午後から 八丁松原公園を通り **高槻市立しろあと歴史館**で鎧や刀剣・玩具等収蔵品展示を見学。城の外堀があった外周沿いを歩き 城跡公園内では**歴史民俗資料館**で懐かしい暮らしの道具・練炭火鉢やちゃぶ台・提灯等を見学。切支丹大名・高山右近像そばを通り 来年 3 月完成予定の新築中芸術文化劇場を見ながら **野見神社**を経て**カトリック教会**内も見学・高山右近像も見て、阪急高槻駅前へ。到着後 解散となりました。手元の万歩計では 16000 歩！とても良い散策コースで、ゆったりとした気持ちの良い一日となりました。